



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 フルサト工業株式会社
コード番号 8087 URL <http://www.furusato.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 古里 龍平
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大西 聡
四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日

TEL 06-6946-9605
平成26年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	40,804	8.4	1,282	19.4	1,436	19.1	896	28.2
26年3月期第2四半期	37,634	0.6	1,073	5.0	1,205	3.3	699	6.1

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 1,008百万円 (8.6%) 26年3月期第2四半期 928百万円 (141.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	61.82	—
26年3月期第2四半期	48.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	52,856	32,211	60.9	2,221.58
26年3月期	53,147	31,514	59.3	2,173.41

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 32,211百万円 26年3月期 31,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	24.50	29.50
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	33.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,300	△0.0	2,880	△7.3	3,180	△6.1	1,820	28.4	125.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料 P. 3 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	14,574,366 株	26年3月期	14,574,366 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	74,857 株	26年3月期	74,566 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	14,499,706 株	26年3月期2Q	14,513,591 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料) P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、消費増税の影響等により、生産等において弱い動きが見られるものの、緩やかな回復基調が続いています。8月の鉱工業生産指数は輸送機械、汎用機械、生産用機械等において低下が見られましたが、機械受注統計は民需において増加傾向にあり、日銀短観による今年度設備投資計画は3年連続の増加が見込まれています。

また、建築着工床面積は、倉庫など一部の用途を除いてマイナスで推移しておりますが、東京五輪を控えた需要には勢いが感じられます。一方で、作業員不足による工期の遅れ等が見られるようになり、今後の懸念材料となります。

このような環境の中、当社グループでは付加価値の拡大による安定的な収益確保に努めました。「機械・設備事業」は政策効果もあり受注が好調に推移し、第1四半期連結累計期間の大幅マイナスからプラスに転じ、「機器・工具事業」および「建築・配管資材事業」も堅調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は408億4百万円（前年同期比8.4%増）となりました。営業利益は12億8千2百万円（同19.4%増）、経常利益は14億3千6百万円（同19.1%増）となりました。法人税等が5億9千9百万円となり、その結果、四半期純利益は8億9千6百万円（同28.2%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりです。

(機器・工具事業)

当事業の売上高は202億7千4百万円（前年同期比6.6%増）となりました。堅調な生産稼働により、工業機器事業が同7.5%増、自動車向け機械工具事業は、第1四半期連結累計期間のマイナスからプラスに転じ同2.5%増となりましたが、仕入先の倒産による契約解除に伴う費用処理の結果、営業利益は同8.3%減の3億6百万円となりました。

(機械・設備事業)

当事業の売上高は69億3千2百万円（前年同期比8.1%増）となりました。受注が順調に推移したこと等により、工作機械事業が同5.2%増とプラスに転じ、FAシステム事業が同21.7%増となりました。これらの結果、営業利益は同41.8%増の1億4千6百万円となりました。

(建築・配管資材事業)

当事業の売上高は135億9千7百万円（前年同期比11.5%増）となりました。鉄骨建築資材事業は、設備機械等の受注増により同9.5%増となり、配管資材事業は、新設営業所の効果等により同20.4%増となりました。これらの結果、営業利益は同24.4%増の7億7千2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末日現在の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億9千万円減少し、528億5千6百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の増加3億5千8百万円、投資有価証券の増加3億6千2百万円等により固定資産が8億1千9百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金の減少25億4千9百万円、現金及び預金の増加7億2千8百万円、電子記録債権の増加2億5千1百万円、商品及び製品の増加1億4千万円等により流動資産が11億1千万円減少したことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末日現在の負債は、前連結会計年度末に比べ9億8千8百万円減少し、206億4千4百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加3億4千万円等により、固定負債が3億7千1百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金の減少15億7百万円、未払法人税等の減少3億3千6百万円等により流動負債が13億6千万円減少したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末日現在の純資産は、前連結会計年度末に比べ6億9千7百万円増加し、322億1千1百万円となりました。この主な要因は、会計方針の変更により利益剰余金の期首残高が4千5百万円増加、剰余金の配当により3億5千5百万円減少、四半期純利益の計上により8億9千6百万円増加、その他有価証券評価差額金が1億1千万円増加したこと等によります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動と財務活動における資金の増加、及び投資活動における資金の減少により、期首残高に比べ4億5千4百万円増加し、97億3千万円(前年同期は88億9千万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、12億8千4百万円(前年同期は得られた資金14億7千3百万円)となりました。これは主に仕入債務の減少額17億5千万円、法人税等の支払額9億6百万円、たな卸資産の増加額1億6千5百万円等ありましたが、税金等調整前四半期純利益14億9千5百万円、売上債権の減少額25億3千2百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、9億7千4百万円(前年同期は使用した資金7億円)となりました。これは有形固定資産の取得による支出5億2千5百万円、投資有価証券の取得による支出2億3千4百万円、定期預金の純減少額2億7千3百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は、1億4千5百万円(前年同期は使用した資金2億8千7百万円)となりました。これは配当金の支払額3億5千4百万円等ありましたが、長期借入による収入5億円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月7日に公表いたしました平成27年3月期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数の割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が18,060千円増加、退職給付に係る負債が51,893千円減少、利益剰余金が45,120千円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,393,407	10,121,484
受取手形及び売掛金	24,834,520	22,284,929
電子記録債権	800,014	1,051,582
商品及び製品	3,093,998	3,234,797
仕掛品	510,622	540,735
原材料及び貯蔵品	135,083	129,757
繰延税金資産	328,389	297,383
その他	273,159	590,409
貸倒引当金	△43,349	△35,620
流動資産合計	39,325,846	38,215,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,087,233	3,122,232
土地	6,373,686	6,374,557
建設仮勘定	735,816	—
その他(純額)	324,281	382,282
有形固定資産合計	9,521,018	9,879,071
無形固定資産	64,171	65,286
投資その他の資産		
投資有価証券	2,884,852	3,247,621
退職給付に係る資産	175,633	233,957
その他	1,270,008	1,342,209
貸倒引当金	△94,299	△126,931
投資その他の資産合計	4,236,195	4,696,857
固定資産合計	13,821,384	14,641,215
資産合計	53,147,231	52,856,674

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,298,347	16,791,110
1年内返済予定の長期借入金	—	160,000
未払法人税等	930,683	593,772
賞与引当金	532,423	554,264
役員賞与引当金	25,860	14,660
災害損失引当金	1,012	1,012
その他	884,276	1,197,599
流動負債合計	20,672,602	19,312,419
固定負債		
長期借入金	—	340,000
繰延税金負債	693,625	779,920
退職給付に係る負債	83,050	30,155
その他	183,937	182,380
固定負債合計	960,613	1,332,457
負債合計	21,633,216	20,644,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,232,413	5,232,413
資本剰余金	5,975,224	5,975,224
利益剰余金	19,198,540	19,784,854
自己株式	△57,127	△57,543
株主資本合計	30,349,051	30,934,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,134,073	1,244,792
退職給付に係る調整累計額	30,890	32,055
その他の包括利益累計額合計	1,164,963	1,276,847
純資産合計	31,514,014	32,211,797
負債純資産合計	53,147,231	52,856,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	37,634,704	40,804,743
売上原価	32,129,132	34,862,775
売上総利益	5,505,572	5,941,968
販売費及び一般管理費	4,431,969	4,659,810
営業利益	1,073,603	1,282,157
営業外収益		
受取利息	5,305	6,110
受取配当金	22,206	24,734
仕入割引	211,394	238,883
受取賃貸料	16,247	16,019
その他	7,932	11,597
営業外収益合計	263,086	297,344
営業外費用		
支払利息	—	1,250
売上割引	116,417	135,066
賃貸収入原価	1,602	1,459
その他	12,809	5,623
営業外費用合計	130,829	143,400
経常利益	1,205,859	1,436,102
特別利益		
投資有価証券売却益	26,094	59,623
特別利益合計	26,094	59,623
特別損失		
固定資産除却損	5,515	—
投資有価証券売却損	—	200
特別損失合計	5,515	200
税金等調整前四半期純利益	1,226,438	1,495,525
法人税、住民税及び事業税	440,286	569,968
法人税等調整額	86,959	29,119
法人税等合計	527,245	599,087
少数株主損益調整前四半期純利益	699,193	896,438
四半期純利益	699,193	896,438

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	699,193	896,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	229,639	110,719
退職給付に係る調整額	—	1,165
その他の包括利益合計	229,639	111,884
四半期包括利益	928,832	1,008,323
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	928,832	1,008,323
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,226,438	1,495,525
減価償却費	146,650	154,157
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,255	△11,200
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△59,267	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△1,001
前払年金費用の増減額(△は増加)	△6,244	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△40,263
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,314	21,841
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,202	24,903
受取利息及び受取配当金	△27,511	△30,844
支払利息	—	1,250
投資有価証券売却損益(△は益)	△26,094	△59,623
売上債権の増減額(△は増加)	1,105,528	2,532,871
たな卸資産の増減額(△は増加)	51,557	△165,586
仕入債務の増減額(△は減少)	△227,281	△1,750,762
その他	△213,705	△10,274
小計	1,963,927	2,160,993
利息及び配当金の受取額	27,438	30,856
利息の支払額	—	△1,401
法人税等の支払額	△517,871	△906,375
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,473,494	1,284,073
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△143,300	△460,500
定期預金の払戻による収入	35,700	187,000
有形固定資産の取得による支出	△555,529	△525,006
投資有価証券の取得による支出	△57,236	△234,635
投資有価証券の売却による収入	44,824	104,717
差入保証金の差入による支出	△11,702	△65,431
その他	△12,939	19,137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△700,182	△974,718
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	500,000
自己株式の取得による支出	△34,039	△415
配当金の支払額	△253,185	△354,361
財務活動によるキャッシュ・フロー	△287,225	145,222
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	486,087	454,576
現金及び現金同等物の期首残高	8,404,049	9,275,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,890,136	9,730,084

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,025,431	6,412,579	12,196,693	37,634,704	—	37,634,704
セグメント間の内部 売上高又は振替高	444,827	154,323	15,452	614,604	△614,604	—
計	19,470,259	6,566,902	12,212,146	38,249,308	△614,604	37,634,704
セグメント利益	333,870	103,095	621,420	1,058,386	15,216	1,073,603

(注)① セグメント利益の調整額15,216千円には、セグメント間取引消去18,015千円、たな卸資産の調整額△2,799千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,274,637	6,932,577	13,597,528	40,804,743	—	40,804,743
セグメント間の内部 売上高又は振替高	508,284	54,126	12,469	574,879	△574,879	—
計	20,782,921	6,986,703	13,609,997	41,379,623	△574,879	40,804,743
セグメント利益	306,267	146,232	772,894	1,225,393	56,764	1,282,157

(注)① セグメント利益の調整額56,764千円には、セグメント間取引消去60,255千円、たな卸資産の調整額△3,491千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。